

(2) 設備改修計画**① 熱源設備**

水族施設への冷水・温水を供給する熱源を共用熱源から分離し、水族専用熱源とし、故障による魚類等の生命維持等のリスクに対応します。冷却用熱源としては、汎用性があり、高効率かつ故障時のリスク対応に優れている空冷式モジュールチラーを採用します。加温用熱源としては、コンパクトで汎用性が高く、イニシャルコストが低廉な都市ガス炊き無圧式温水ヒーターを採用します。

② 飼育設備**a. 冷水・温水配管**

冷水配管は老朽化が進んでいるため、今回全面更新を行います。配管材質は内面ライニング鋼管とし、システムの長寿命化を図ります。

温水配管は平成 22 年に更新工事が完了しており、今回改修で変更となる部分のみ対応します。

b. 熱交換器

バイカル湖の固有種導入に伴い、冷水の行き還り温度を 7℃—12℃から 5℃—13℃に変更するに伴い、熱交換器を更新します。

c. ろ過循環ポンプ・ろ過器

新設水槽のための循環ポンプ・ろ過器を新設します。

③ 電気設備

水槽照明器具の光源を省エネルギー・長寿命なLED化を進め、ランニングコストの低減を図ります。また、観覧通路の内装改修にともない、観覧通路照明の光源をLEDに更新します。

4. スケジュール、事業規模および目標来館者数

(1) 全体スケジュール

平成 24 年 新琵琶湖博物館創造ビジョン
平成 25 年 新琵琶湖博物館創造基本計画



第1期

平成 26 年 第1期リニューアル実施設計
(C展示室、水族展示)
平成 27 年 第1期リニューアル工事
平成 28 年 第1期リニューアル完成
(開館 20 周年)



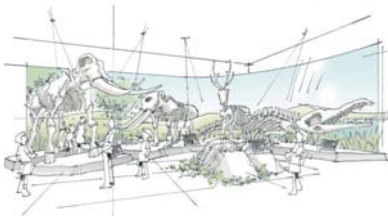
<大人のディスカバリー>



<樹冠トレイル>

第2期

平成 30 年 第2期リニューアル (交流空間)
(大人のディスカバリー、樹冠トレイル、レストラン/ ショップ 他)



<A展示室：変わる生き物>

第3期

平成 32 年 第3期リニューアル
(A展示室、B展示室)



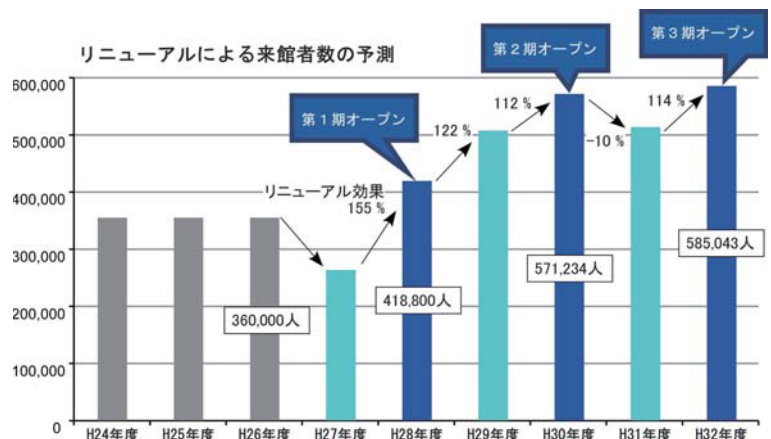
<B展示室：船とともにある暮らし>

(2) 事業規模および目標来館者数

◆事業規模 30 億円規模

<参考> リニューアルによる来館者数の予測
(「新琵琶湖博物館創造基本計画」より)

◆目標来館者数 60 万人



4. スケジュール、事業規模および目標来館者数

(3) 第1期リニューアルスケジュール

	平成27年度				平成28年度		
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期	
契約工期		← 建築工事(2015/7~2016/5) →					リ ニ ュ ー ア ル オ ー プ ン
		← 展示工事(2015/7~2016/7) →					
閉館期間			← C展示(2015/11~2016/7上旬) →				
			← 水族展示(2015/9~2016/7上旬) →				

- 20周年を迎える平成28年度に第1期のリニューアルオープンを目指します。集客力の高い夏休み前の平成28年7月オープンで計画を進めます。
- 水族展示の閉鎖期間は、夏休みを外して平成27年9月に閉館し、平成28年7月までの工期で計画しています。
- C展示室は平成27年11月に閉館し、平成28年7月までの工期で計画しています。